

### 3. 防災・減災地域共同活動支払交付金について

◎近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害が増えています。特に「水害」から地域の農地や排水施設を守り、災害に強い村づくりを支援するための新しい制度として、多面的の枠組を活用した「**防災・減災地域共同活動支払交付金**」が令和7年度補正予算において創設されました。

#### (1) 防災・減災地域共同活動支払交付金とは

田んぼダムの取組を後押しするために、流域治水プロジェクトの流域内において共同活動にて実施する**排水路**の補修・更新を支援します。注意点は**排水路以外に使用できません**。例えば、長寿命化で実施する計画だった排水路の補修・更新を防災・減災地域共同活動支払交付金(以下、防災減災交付金)に振り替えることが可能です。

**【要件】田んぼダムを実施する、または予定している排水路※であること  
(※田んぼダムを実施する排水路の下流部でも可。)**

#### (2) 田んぼダムとは

田んぼの排水柵に堰板等を取り付けることで排水路に水をゆっくり流します。大雨時、降った雨が一気に流れることを防ぎ、河川の増水による浸水・洪水被害の軽減が可能です。多面的機能支払交付金の共同活動で取り組むことができます。取組による営農への支障は宮崎県で田んぼダムを実施している6地区(多面活動組織を含む)で確認されていません。



高鍋町勝利下  
田んぼダム器具 (排水柵と一体型)

**農業用水など水に関わる全ての人水害対策に取り組む「流域治水」の取組として田んぼダムを推進しています**

#### (3) 目的

田んぼダムの効果を十分に発揮させるには、水の出口となる「排水路」がしっかりと水が流れる状態であればいけないため、漏水箇所の補修や更新を行う共同活動を支援します。

#### (4) 交付単価・上限

多面的機能支払の「資源向上支払(長寿命化)」と同じ単価・上限が適用されます。

#### (5) 手続き

すでに「多面的機能支払」の長寿命化(資源向上支払)に取り組んでいる組織で、**組織内で合意形成が図れていれば**①活動計画書と②交付申請書類等のみ市町村に提出してください。

#### (6) 交付時期

国の補正であるため予算が確保される**12月~2月にかけて交付されます**。交付年度に工事ができない場合は**翌年度へ全額持ち越しすることも可能です**。

例えば、令和9年1月に交付を受けた場合、3月末までに交付金を使わず、4月以降に工事を発注・実施することが可能です。

#### (7) その他

**多面的機能支払の「資源向上支払(長寿命化)」と防災減災交付金を一緒に使うことも可能です**。各交付上限額(長寿命化200万+防災減災交付金200万)で最大400万円の排水路の工事を1本で発注可能です。

詳しくは、各市町村の多面的機能支払交付金窓口までお問い合わせください

## 多面的機能支払ネットワーク通信



発行 宮崎県多面的機能推進協議会  
(宮崎県土地改良事業団体連合会内)  
TEL 0985-24-3361 FAX 0985-29-9107  
HP <http://nouchimizu-kyougikai.com/>



2026.3 March

### 目次

1. 水路補修技術等現地講習会を開催しました	1
2. 共同作業における安全対策の徹底について	2
3. 防災・減災地域共同活動支払交付金について	4

## 1. 水路補修技術等現地講習会を開催しました

令和7年12月19日(金)高原町鹿児山農地環境保全会の対象区域内にて西諸県管内の活動組織や高原町職員が参加し、多面的機能支払交付金に係る水路補修技術等現地講習会を開催した。

本講習会は、活動組織の構成員が水路等の簡易な補修に関する知識や技術を習得することで、低コストかつスピーディに施設の保安全管理が可能となることを目的に毎年1回各地で開催しており、活動組織は5年間のうち1回以上受講することが必須となっている。

当日は、水土里ネット宮崎から総務部施設管理課の職員を講師として水路目地補修の実演が行われ、参加者も交代で体験した。

体験した参加者は、「簡単に補修ができることが分かった。早速、自分の組織でも試してみたい」と話していた。



講習会の様子



体験の様子

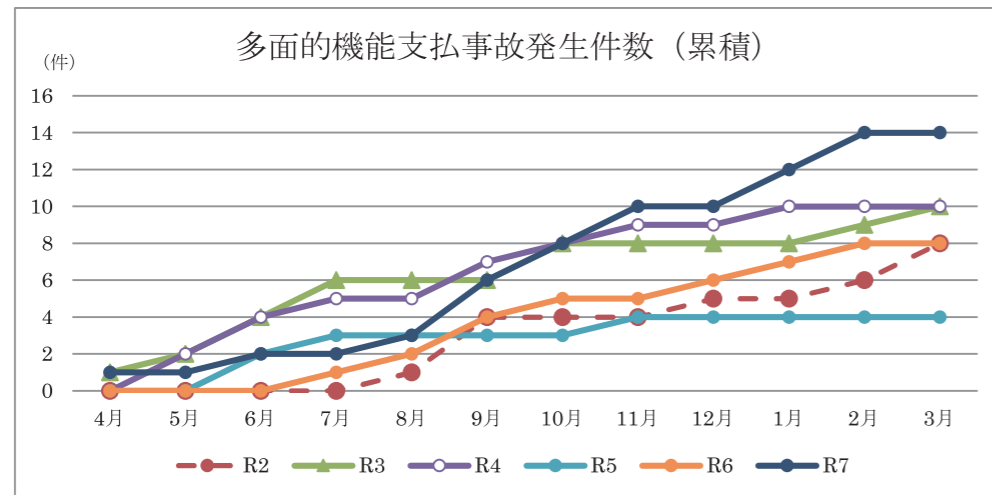
#### 講習会内容

- 多面的機能支払交付金における施設の補修更新について
- 水路目地補修等について
- 水路目地補修工法  
(シーリング工法、水中パテ工法、テープタイプ工法)
- 活動における安全対策

## 2. 共同作業における安全対策の徹底について

### (1) 事故発生件数について

昨年度、本県での事故発生件数は8件となりました。しかし、中には入院を伴うような大きな事故も発生しており、一歩間違えば命に関わるような事故になりかねません。また、今年度は、過去5年間で最多となる14件の事故が発生しており、野焼きの際の火事（延焼等）も3件発生しております。活動に当たっては十分な安全対策が必要です。

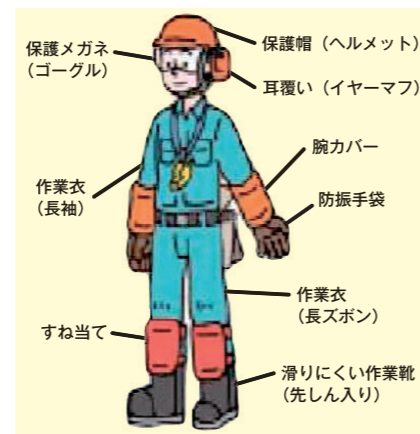


【県内における近年の事故発生状況（人身事故）】

全国でも、事故の約7割が草刈り中に発生しており、そのうち約半数が水路で発生しています。原因としては「転倒・転落」、「草刈機等の接触」や「飛び石」による事故が多く、死亡事故も発生しています。

### (2) 安全対策のポイント

- ・ **傷害保険**に必ず加入しましょう。  
(物損事故にも対応できる保険加入が望ましい。)
- ・ 作業前に周辺に危険なものがないか**現場確認**や**準備体操**を行きましょう。
- ・ **ヘルメット**や**安全靴**、**手袋**など安全用具を使用しましょう。  
(多面活動で使用するヘルメットや安全器具は交付金で購入可能)
- ・ ヘルメット着用場面の例（法面の草刈、山腹用水路や法面の高い水路の泥上、過去事故があった作業など）
- ・ 必ず**複数名**で活動しましょう。
- ・ 時間を区切って、**適切な休憩**や**水分補給**をしましょう。
- ・ 無理な作業はやめましょう。



### (3) 事故が起こってしまった時の対応について

- ・ 急を要する場合は、迷わず**救急車**を呼びましょう。
- ・ 迅速かつ適切な**応急手当**を行きましょう。
- ・ **速やかに**、**市町村に事故の状況を報告**しましょう。

(人身事故だけでなく、物損事故についても同様です。)

※作業中の事故防止のため、作業開始前に「**共同活動の安全のしおり**」で事前チェックを行いましょ！

(※農林水産省ホームページ「**共同活動の安全のしおり**」で検索)

### 事故事例①：トラクターでの草刈り作業中のトラクター横転による死亡事故

時期：2025年9月

作業内容：水路法面の草刈

事故概要：モア（草刈り機）を装着した**トラクターで水路法面の草刈作業時、トラクターがバランスを崩し横転**。運転をしていた被害男性が下敷きになり、本人死亡。

発生原因：元々、草刈り機で除草作業を行っていたが、蔓のつるが草刈り機に絡まり順調に作業が進まず、トラクターによる除草作業に切り替えたという経緯であった（**慣れていない作業**）。**トラクターで水路際まで除草処理を行おうとした結果、横転**。

防止策：シートベルトの着用、危険箇所の事前確認。



事故現場（水路法面）

### 事故事例②：ため池の草刈における死亡事故

時期：2025年9月

作業内容：ため池の草刈り

事故概要：被害男性を含む3名のグループでため池とその周囲の草刈りを行っていた。それぞれ、**担当範囲を決め作業を行っていたが、途中から被害男性の姿が確認できなくなり、ため池の水を抜いたところ、被害男性が倒れているのが発見された**。

発生原因：決められた範囲を外れて作業を行っており、**お互いの姿が確認できる範囲から外れていた（実質、単独作業になっていた）**。

防止策：単独作業にならないように常に互いの姿が見える範囲で作業を行う。頻繁に声かけを行い、決められた範囲内で作業を行う。



事故現場（ため池）のイメージ

### 事故事例③：水路の草刈作業時の転倒による死亡事故

時期：2025年10月

作業内容：水路の草刈り

事故概要：複数人で水路の草刈作業をしていた際、**被害男性が後方に転倒しコンクリート製の水路側壁に後頭部を強打し、本人死亡**。死因は脳挫傷。

発生原因：**ヘルメットの未装着**。周囲の状況について確認不足。

防止策：ヘルメットの装着。水路際の草刈りを行う際は、水路に背を向けて行わない。（足元確認）



事故現場（水路）